

第 1 回 土壁再生シリーズ公開研究会

1300 年の歴史をもつ土壁は、豊かな風情と調湿性、CO₂ やホルムアルデヒドの吸収効果、抗菌性、地球環境負荷の低減、防火・耐震性等、様々な面で優れた特性を持っています。京都の土壁の耐震性の高さは各所の実験で確認されていますが、建築基準法上の評価が低く、また土壁に対する知識や情報不足のために土壁を使いにくい状況になっています。

そのため、土壁の特性に対する正しい知識と最新の研究成果を学び、京都を代表する土壁文化を住まい・まちづくりに活かして次世代につなげていくための各種課題の解決策を協働で研究し、成果を社会に還元するシリーズ公開研究会を開催いたします。

なお、実効性の高い研究・提案を行うために、市民、建築設計者、施工者、左官技能者、研究者、行政等の様々な分野のメンバーによる協働研究体制で取り組む予定です。協働研究にご協力いただける方はお気軽にご参加下さい。

第 1 回「企画会議 みんなで土壁の再生方法を考えよう」

1. 平成 24 年度 5 回シリーズ研究会の概要説明と意見交換

「土壁を使いやすい環境に整備する」ために、優先的に取り組むべき課題を 4 つのテーマに分けて研究会を開催いたします。

第 2 回研究会「土壁を様々な用途、構造、規模の建物に使えるようにするための防火法令上の課題と対策」、7/29(日) 午後 1 時半より

第 3 回研究会「優れた耐震性の公的評価を得るために」、9/30(日) 午後 1 時半より

第 4 回研究会「土壁の手入れと地震後の補修・補強方法」、11/25(日) 午後 1 時半より

第 5 回研究会「土壁の住まいの断熱性を高める」、平成 25 年 1/27(日) 午後 1 時半より

4 つのテーマについて、参加者の皆様の悩み・疑問・ご要望をお聞きした上で、皆様のご意見を集約して各研究会で検討する課題を決めて、活動の役割分担をいたします。

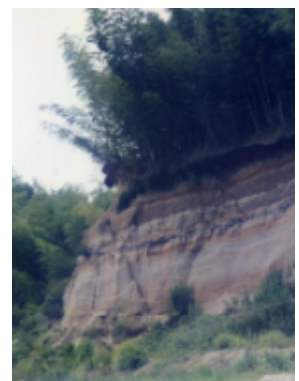
2. 土壁の設計・施工マニュアルの企画の検討

シリーズ研究会の成果をとりまとめて、市民、設計者、施工者等が土壁を使う際に知りたい情報をわかりやすくビジュアルにまとめたマニュアルを作成します。

当日は参加者の皆様と意見交換して、マニュアルに盛り込む内容とマニュアル作成のための役割分担を決める予定です。

(掲載内容の例) ・予算・工期がない場合の考え方、

- ・市民の理解が得られにくい土壁の経年変化に対する考え方、
- ・さまざまな材料・工法と土壁の性能比較データ など



京都市内の壁土原土の採取現場(平成 10 年時点)

会 場 西陣ヒコバエノ家
(京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町632)

参加費 無料、但し、資料代実費 500 円

定 員 50 名 (参加申込み先着順)

参加方法

5/2(水)までに、お名前、所属、電話番号、FAX番号またはメールアドレスを明記の上、FAXまたは電話、メールで下記までお申し込み下さい。

シリーズ公開研究会のワーキングメンバーとして協働研究に参画・ご協力いただける方はその旨をご記入してお申し込み下さい。

なお、お申込みと同時に参加受理とさせて頂き、ご連絡は定員締切後に申込みのあった方のみさせていただきます。



会場の土壁の町家
(日本で初めて実験で防火・耐震改修の有効性を検証した町家)

参加申込先 関西木造住文化研究会 (略称 KARTH: カース)

TEL 075-411-2730 悠計画研究所内、FAX 075-411-2725、
E-mail info@karth.sakura.ne.jp <http://karth.blog13.fc2.com/>

京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町 632

協 賛 一般社団法人 日本建築学会近畿支部

そ の 他 会場には駐車場はありません。



会場への交通アクセス

バス停「今出川浄福寺」又は「千本上立売」より徒歩 5分

JR 京都駅より (所要時間 約 40 分)

地下鉄烏丸線「烏丸今出川」駅下車 3 番出口を出た後に、
交差点東側バス停から今出川通の西行きバスに乗り、

「今出川浄福寺」下車

市バスを利用する場合

A3 の 206 番乗車、バス停「千本上立売」下車、又は

B2 の 50 番、101 番乗車、バス停「千本今出川」下車



試験体の製作 (H15 年)



耐震実験 (H15 年)



防火実験 (H14 年)

京都の土壁の防火実験、耐震実験の一例 (関西木造住文化研究会 & 京都左官協同組合 他)